

# 令和4年第4回雲仙市議会定例会

## 市長報告 (開会)

令和4年11月24日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について報告させていただきます。

長崎県全体の感染状況につきましては、県全体の病床利用率の状況等を踏まえ、10月7日から県内の感染段階が「レベル1（注意報）」に引き下げられておりますが、全国及び県内の新規感染者数は増加傾向となっており、今後、第8波やインフルエンザとの同時流行が懸念されております。

雲仙市といたしましては、ワクチンの円滑な接種、社会・経済活動の回復と活性化に向けて取り組むとともに、引き続き市民の皆様に対して感染防止対策の徹底をお願いしてまいります。

続きまして、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

### **【秋の褒章の受章について】**

11月3日、令和4年秋の褒章が発令され、吾妻町の岩崎政利様が、地域の伝統野菜を守り育む「種採り野菜」の栽培

に長年取り組み、有機農業の普及に尽力されたご功績により、「黄綬褒章」を受章されました。

### 【産業の分野における活躍について】

10月6日から10日にかけて開催された「第12回全国和牛能力共進会」において、千々石町の小川博信様が第6区（総合評価群）の肉牛部門へ出品され、小川様を含む長崎県勢が総合4位という素晴らしい成績を収められました。

11月12日、「令和4年度ながさき農林業大賞」表彰式が開催され、露地野菜部門で南串山町の本田健吾・美香様が「長崎県知事賞」を、畜産部門で千々石町の荒木大作・博美様、農産部門で国見町の竹田小太郎・美千子様、産地集団部門で島原雲仙農協 西部ミニトマト部会様が「運営委員会会長賞」を受賞されました。

### 【スポーツの分野における活躍について】

11月12日、13日を中心に開催された「第73回長崎県民体育大会」において、雲仙市スポーツ協会から、18競技に総勢442名の選手が出場され、団体競技では、ソフト

ボール競技の「成年男子一般の部」及び「成年男子実年の部」、ソフトテニス競技の「成年男子の部」 Bグループにおいて見事優勝されました。

また、個人競技では、レスリング 86kg 級で国見町の渡辺悠生様が、空手道競技（組手）の「壮年の部男子 60 歳代」で小浜町の佐藤孝介様が見事優勝されました。

10月22日から11月13日にかけて開催された「第101回全国高校サッカー選手権大会長崎県大会」において、国見高校サッカー部が12年ぶり23回目の優勝を果たされ、12月28日から開催される全国大会に出場されます。

### **【ジュニアスポーツの分野における活躍について】**

本年5月に開催された「第38回長崎県少年少女空手道選手権大会」の男子個人組手競技において、愛野小学校4年の平野智佐斗さんが5位に入賞され、10月29日、30日に開催された「第8回全九州少年少女空手道選手権大会」に出場されました。

10月29日、30日に開催された「長崎県中学校ソフトテニス競技新人大会」において、男子団体戦で国見中学校が

見事優勝され、また、同校2年の松尾寛斗さん、茂見透吾さんペアが準優勝されました。

### **【芸術文化の分野における活躍について】**

11月20日、「第35回全日本マーチングコンテスト」が開催され、九州代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の皆様が、19年連続の全国大会出場という偉業を成し遂げられたなか、見事13回目となる「金賞」を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

### **【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】**

地域福祉の充実につきましては、11月19日、「令和4年

度雲仙市金婚祝賀式」を開催し、松尾議長をはじめ、市議会議員の皆様にご臨席を賜り、ご出席された25組のご夫婦へ祝賀状と記念品をお贈りして祝福させていただきました。

地域防災体制の強化につきましては、10月30日、市民一人ひとりの防災意識の向上と市及び関係機関、自主防災組織の防災力向上を目的とした「雲仙市防災訓練」を実施いたしました。

本訓練を実施するにあたり、ご協力いただきました吾妻町自治会長の皆様をはじめ、関係機関の皆様にご感謝申し上げます。

## 【基本方針2「産業と交流」の分野について】

担い手の確保・育成と経営支援につきましては、10月27日、農業における生物多様性を地域に推進することを目的に活動されている「雲仙市伝統野菜を守り育む会」様が作成された冊子「育てよう味わおう雲仙の食～守る野菜編～」の完成についてご報告いただきました。

同会の取り組みに対し心より感謝申し上げますとともに、今回いただきました冊子は、関係機関やイベントで配布する

など大切に活用させていただきます。

宮内庁の主要事業であり、宮中献穀雲仙市奉賛会で取り組まれております宮中献穀事業につきましては、本年9月に吾妻町牧の内地区で献穀米を収穫され、10月21日に宮内庁への贈呈が行われました。

この間、奉耕者の笹田光一様、ご家族の皆様、また地域の皆様のご尽力と、ご協力いただきました市民の皆様に対し深く感謝申し上げます。

魅力的な観光商品の造成につきましては、10月1日、雲仙市地域おこし協力隊のまちなみ活性コーディネーターとして、国見町出身の杉野友紀さんが着任いたしました。

隊員となられた杉野さんには、国見町神代の趣ある空き家や空き店舗の利活用、地元まちづくり団体の支援等に取り組んでいただき、本市の魅力の向上が図られることを期待しております。

なお、本年9月から、地域おこし協力隊の活動を試行的に体験していただく「雲仙市地域おこし協力隊インターン生」の受け入れを開始しており、これまでに4名の方々に活動していただいております。

### 【基本方針 3 「社会基盤と環境」の分野について】

主要道路の整備につきましては、島原半島3市で構成します愛野・小浜バイパス建設促進期成会におきまして、各市の市長、議長とともに、11月2日に九州地方整備局長、11月14日に国土交通省長崎河川国道事務所長、長崎県知事、長崎県議会議長、自由民主党長崎県支部連合会に対し要望を行いました。

また、市議会における愛野・小浜バイパス整備促進特別委員会におかれましても、松尾議長、大久保委員長をはじめ、議員の皆様により、11月8日から9日にかけて、秋野財務副大臣、国土交通省道路局長、県選出国會議員等に対する要望を行っていただきました。

今後も、愛野・小浜バイパス整備促進特別委員会をはじめ、関係機関と連携を図りながら、国道57号富津防災の推進と、愛野町から小浜町間の幹線道路整備の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

公共交通の維持・活性化につきましては、9月23日、長崎駅から武雄温泉駅までを結ぶ、西九州新幹線が開業された

ことを受け、一般社団法人雲仙観光局により、本市への誘客促進を図るための臨時の観光案内所が諫早駅構内に設置されております。

10月21日、オンデマンド型乗合送迎サービス「チョイソコうんぜん」につきまして、長崎トヨペット株式会社及び地元タクシー事業者の皆様と連携し、多くの企業・団体等の皆様からの協賛等により事業の安定性を高める仕組みを構築したことなどが評価され、九州運輸局長より本市へ表彰状が贈呈されました。

市道小浜仁田峠循環線の渋滞対策につきましては、紅葉シーズンに合わせて、10月29日から11月6日までの土日、祝日の計5日間、事前予約制による渋滞対策の実証実験を行いました。

今後、実証実験結果を踏まえ、次年度以降の渋滞対策に取り組んでまいります。

自然環境の保全につきましては、10月16日、ごみ拾いにスポーツの要素を加えた社会貢献イベント「スポGOMI in NAGASAKI 2022雲仙市大会」が千々石海岸において開催され、115名の参加により、約70kgの

ごみが回収されました。

本イベントを主催されました株式会社長崎国際テレビ様をはじめ、関係団体の皆様、また、イベントに参加いただきました皆様に対し、心から感謝申し上げます。

### **【基本方針5「協働と戦略」の分野について】**

市民活躍のまちづくりにつきましては、9月23日、「コロナに負けんど！ くにみの日2022」と称し、国見町3箇所において打ち上げ花火大会が開催されました。

また、10月16日には、「子ども夢応援プロジェクト」が雲仙BASEにおいて開催され、ファミリーコンサートやチャリティープロレスが行われました。

実施団体の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

11月8日、第25代高校生平和大使として活動されている吾妻町在住の田原夏海さんから、これまでの街頭署名や同世代への平和継承などの活動についてご報告をいただきました。

なお、12月4日に開催予定の「雲仙市産業まつり」にお

いて、本市では初めてとなる「高校生1万人署名活動」を計画されており、今後のご活躍を期待しております。

情報管理とICTにつきましては、11月1日、行政手続のオンライン化を通じて、市民の皆様の利便性向上及び業務の効率化を図るため、24時間365日、いつでも自宅や外出先からパソコン、スマートフォンで手続きが可能となる「雲仙市電子申請サービス」の運用を開始いたしました。